

開催都市挨拶

広島市 都市整備局 局長 山地 正宏 氏

ご紹介いただきました広島市都市整備局長の山地でございます。全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018 in Hiroshima の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日、広島におきまして、この様に盛大に本シンポジウムが開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、広島での開催にご尽力をいただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。全国的に人口減少の時代が進んでいく中で、都市をどのように持続的に発展させていくかということが大きな課題となっております。これに対応していくためには、都市の基盤施設を活かしながら地域の方々が主体となって地域の価値を高めていくという、エリアマネジメントの取組が一層重要になってくると考えております。こうした中、全国エリアマネジメントネットワークの関係者の皆様方が全国各地で精力的に活動を続けておられますことに、改めて敬意を表したいと思います。

ここで少し広島市のことをご紹介させていただきます。先ほど、下村委員長からもご紹介がございましたけれども、広島市では陸の玄関口である広島駅周辺地区と、中四国地方最大の商業・業務機能の集積地であります紙屋町・八丁堀地区の両地区を都心の核と位置づけた楕円形の都心づくりを進めております。この内、広島駅の周辺では再開発事業や広島駅の南北自由通路が完成し、プロ野球広島東洋カープの人気と相まって、新たなにぎわいが生まれております。このような中、当地区では、エキキタまちづくり会議というエリアマネジメントの組織が結成され、駅の北側の地区を中心に、活発に活動されております。また、駅の南側の地区を中心に活動される広島駅周辺地区まちづくり協議会が、来週結成される予定となっております。一方で、西の核となる紙屋町・八丁堀地区においては、広島駅周辺地区に刺激される形で、再開発事業や建物の更新の動きが活発になってまいりました。また、地域の皆様もエリアマネジメントの勉強会などを精力的に行われるなど、これからの新たなまちづくりへの機運が盛り上がっております。このような動きに対しまして、広島市としてもしっかりと連携してまいり所存でございます。本日のシンポジウムを通じ、市民・企業・行政等の連携が一層強まり、エリアマネジメントの取組が更に推進することを期待しております。最後に、全国エリアマネジメントネットワークの益々のご発展と、本日ご参加の皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。本日はよろしく願いいたします。